

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	まちづくり「下町塾」					所管	都市づくり部 都市計画課
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標]						
		[小 柱]						
		[施 策]						[事業開始] 平成 5 年度
		[終了予定] - 年度						
	根拠法令等	その他	[法令等名]	台東区都市計画マスタープラン				
	事業対象	まちづくりに興味がある方						
事業目的	まちづくりに対する関心を高め、地域で積極的にまちづくり活動を行う人材を育成する。							
事業内容	<p>専門講師による台東区のまちづくりや景観、防災等に関する講義のほか、受講生が実際に対象エリアのまちを歩き、まちの課題や方向性について考えるワークショップを行う。</p> <p>全講義の2/3以上出席した受講生には修了証を交付する。</p>							
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	まちづくり「下町塾」開催回数	回	1	1	1	1	
		成果指標	修了者数	人	40	50	43	43
		まちづくり「下町塾」に対する満足度	%	90.0	85.7	84.5	87.7	
	決算額	(単位：千円)			611	578	609	
	事務事業コスト	人にかかるコスト（人件費など）			11,930	15,047	14,195	
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			146	123	117	
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			466	456	493	
		総経費			12,542	15,626	14,805	
	財源項目	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0	
その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0			
一般財源（区負担額）			12,542	15,626	14,805			
前回評価から改善した事項	なし							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	区民がまちの課題やまちづくりについて問題意識を持ち、積極的にまちづくりに参加するためには、動機付けが必要であり、わかりやすい講座である下町塾の意義、必要性は高い。					
	効率性	3	コストや効率性に大きな変化はない					
	手段の適切性	4	前年度の成果及び反省を踏まえて、講義内容の見直しを図り、より実践的で有効な講義の組み立てを行っている。					
目的達成度	4	ワークショップを通じ、地域との繋がりができ、修了生によるまちづくりの機運が芽生えている。						
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
区と区民が協働してまちづくりに取り組むためには、区民がまちづくりに参画する動機付けが必要であり、わかりやすい講座である下町塾の意義、必要性は高い。						維持		